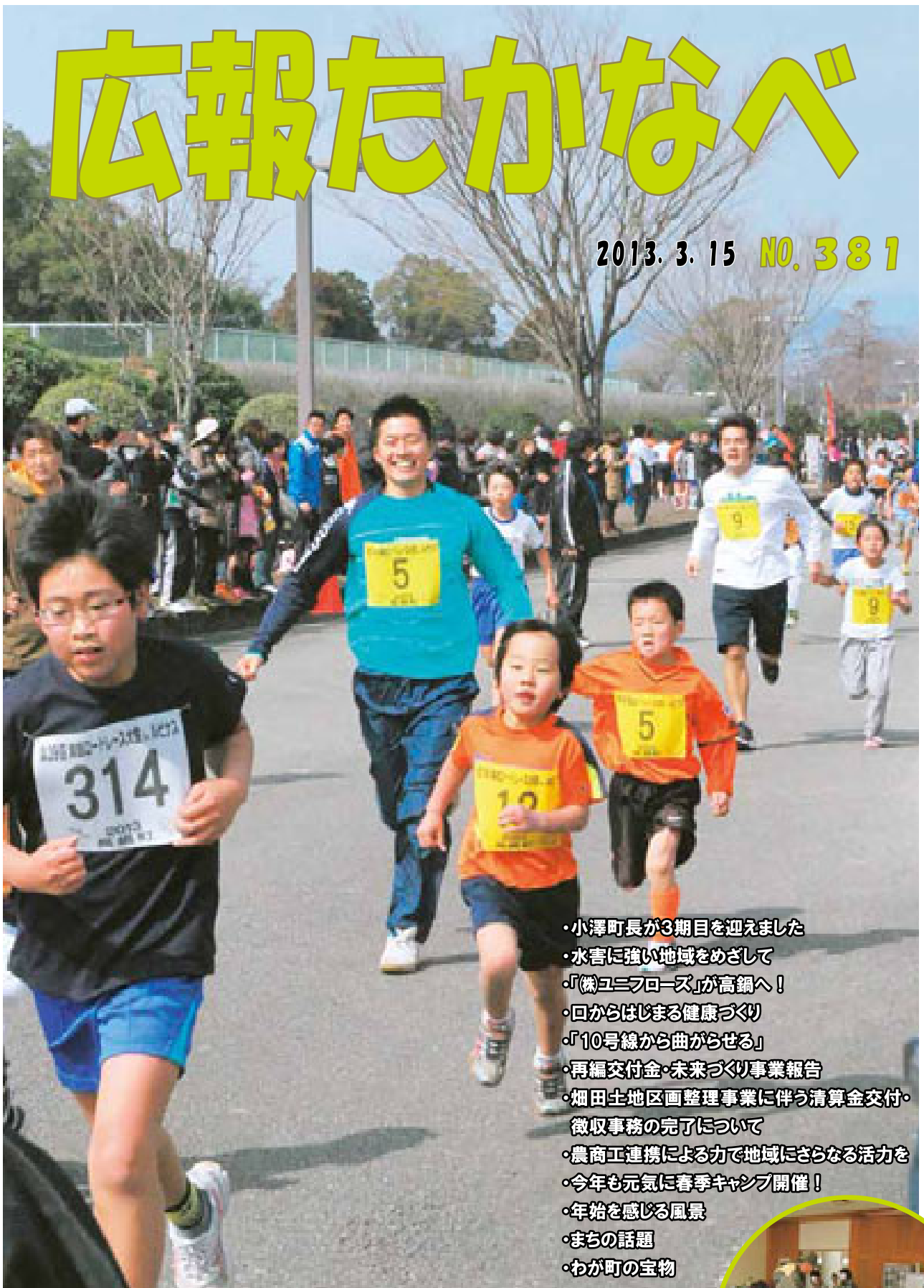


広報たかなべ

2013. 3. 15 NO. 381



- ・小澤町長が3期目を迎えました
- ・水害に強い地域をめざして
- ・「(株)ユニフローズ」が高鋼へ!
- ・回からはじまる健康づくり
- ・「10号線から曲がらせる」
- ・再編交付金・未来づくり事業報告
- ・畑田土地区画整理事業に伴う清算金交付・徴収事務の完了について
- ・農商工連携による力で地域にさらなる活力を
- ・今年も元気に春季キャンプ開催!
- ・年始を感じる風景
- ・まちの話題
- ・わが町の宝物

早春の風を切り、さっそうとランナーたちが駆け抜ける!

3月3日、宮崎県立農業大学校・ルピナスパークで「第39回舞鶴ロードレース大会 in ルピナス」が行われ、およそ600の方が参加しました。沿道からは熱い声援が送られました。

会場では、ボランティアの皆さんによるうどんのふるまいがあり、走り終えたランナーたちは、心と体を温めることができました。



小澤町長が二期目を迎えました

任期満了に伴う高鍋町長選挙が二月十七日に行われ、小澤浩一町長が三期目に再選しました。二月十八日に高鍋町役場で「当選証書付与式」が行われ、小澤町長は当選証書を受けました。

三月四日に開会した「平成二十五年第一回高鍋町議会定例会」で、小澤町長が所信を表明致しましたので、ご紹介いたします。

小澤町長は、昭和二十二年生まれの六十五歳で、任期は二月二十七日からです。



私は、平成十七年二月の町長就任以来、「町民が主役のまちづくり」を政治理念として、二期八年間に渡り町政の舵取りを担ってまいりました。そして、本年二月の町長選挙では、町民の皆様方の御信任をいただき、引き続き三期目の重責を担うこととなり、改めて皆様から寄せられた期待の大きさと、責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、長引く円高・デフレ不況、東日本大震災や欧州債務危機の影響など、我が国を取り巻く経済環境が厳しい中、口蹄疫、鳥インフルエンザの影響も重なり、本町の地域経済も大変疲弊している状況であります。政府・日銀の金融緩和、機動的な財政政策により、我が国経済の先行きには明るさも見え始めております。

また、本町が、厳しい時代を乗り切り、町民に真に必要なサービスを提供し続け、活力ある町政を継続するとともに、いつまでも住み続けたい魅力ある高鍋町として発展していくためには、町民と行政の協働による本町の特性を生かした魅力あるまちづくりへの継続的な取り組みが必要であります。

【基本方針】
町民が主役のまちづくりと効率的で信頼される行財政運営

↓

【5つの目標】

- ・安全安心なまちづくり
- ・健康福祉のまちづくり
- ・資源を生かした元気なまちづくり
- ・こころ豊かなまちづくり
- ・環境にやさしいまちづくり

町長就任時には、財政基盤の悪化や複雑多様化する行政ニーズへの対応など町政を取り巻く環境が極めて厳しい中、ひたすら町民の福祉の向上、町の発展を願いながら、また、町政運営に当たっては、一期目では「公平と公正の町政」「行財政改革の推進」「市町村合併の推進」「安心と安全

のまちづくり」「力強い産業の創出」「福祉と文教のまちづくり」の六つを、二期目では、「安心安全なまちづくり」「行財政改革の推進」「産業の振興」「市町村合併の推進」「福祉・教育・スポーツの振興」の五つを目標に、全力で職務の遂行に当たってきたところであります。

それでは、平成二十五年の重点施策について、ご説明申し上げます。

本年は、「復興」「防災」「人にやさしいまち」この三つの優先課題に、引き続き全力を挙げて取り組みをお誓いいたします。

復興

まず、一点目は「復興」についてであります。長引く景気低迷の中、疲弊した本町の復興を図るためさまざまな施策に積極的に取り組んでまいります。

商業では、高鍋商工会議所や高鍋町まちなか商業活性化協議会などと連携しながら、引き続き商店街の活性化に取り組んでまいります。

畜産業では、口蹄疫からの復興を図るため、埋却地再生整備事業などを実施してまいります。

農業では、葉たばこからの転換を図る事業、経営体育成事業、緊急生産調整対策事業などを引き続き推進するとともに、安全で品質の高い農畜産物のブランド化に取り組んでまいります。

併せて、尾鈴地区土地改良事業による農業用水の確保など農業基盤の整備を図ってまいります。



昨年の花守山植樹祭

し、さらなる企業誘致の促進を図ってまいります。

観光では、NPO法人高鍋町観光協会を中心とし、桜まつり、高鍋城灯籠まつりなど、地域の活性化に取り組みとともに、花守山整備事業、舞鶴公園周辺整備事業に着手してまいります。

防災

二点目は、「防災」についてであります。東日本大震災を教訓に、危機管理能力の高い、災害に強いまちづくりを推進するため、基本となる地域防災計画の改正を進めるとともに、災害時において、町民サービスを停滞させないよう業務継続計画策定に取り組んでまいります。

また、災害時に避難所となる町体育館の大規模改修、東・西小学校の外壁改修・屋上手摺の設置、災害対策本部となる庁舎の耐震補強設計工事、避難道路の整備など防災機能の強化を図ってまいります。



土砂災害防災訓練

を図るため、防災訓練、土砂災害訓練、津波訓練の実施や、災害時要援護者避難支援、地域見守り、自主防災組織の育成を引き続き実施してまいります。

障がい者や高齢者をはじめ地域で暮らしている誰もが安心して自立した生活を送ることができるとともに支えあう地域福祉が充実したまちを目指す取り組みとして、障がい者の相談支援を総合的・一元的に行う基幹相談支援センターの設置、地域社会における子育て支援や高齢者支援、多世代交流の環境の充実を図るため高齢者等多世代交流拠点施設の設置などを実施して

人にやさしいまち



以上、重点施策について申し述べましたが、いづれも、私一人、あるいは職員のみだけではなすことはできません。町議会をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力が不可欠であります。

本町のさらなる発展のため、今後なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成二十五年に臨む私の所信といたします。

工業では、本年一月に医用機器製造の企業と企業立地に関する協定書を締結いたしました。地域活性化のため、企業誘致コーディネーターや町人会を活用



平成25年度より始まる町史編さん事業

また、関係団体が連携して取り組む観光振興基本計画の策定、観光交流促進・魅力情報発信事業によるテレビ・ラジオでのニュースや話題の放送、魅力ある郷土を後世に伝えるための町史編さん事業など、観光客誘致や地域の活性化を図ってまいります。

水害に強い地域をめざして



この写真は、平成17年9月に来襲した台風14号のときの小丸川の様子です。堤防の上部まで濁流が迫ってきているのがわかります。堤防のすぐ横には住宅地が広がります。(高鍋大橋から川上を望む)

(平成17年9月6日撮影)

平成十七年九月の台風十四号は長時間にわたり記録的な豪雨をもたらし、小丸川の水位は危険水位五・五mを大幅に上回る六・〇九mを記録しました。

高鍋町内は、小丸川周辺を中心に市街地付近まで浸水し、避難者数は三千人を超え、床上浸水が三十六棟、床上浸水が百十八棟の被害となりました。

小丸川は多くの生物の営みの場であり、私たちの飲み水を生み出している場でもあります。

しかし、台風や地震による津波などが起きたときには、容赦なく私たちを襲います。私たちは、水害に見舞われる危険に常にさらされているのです。

では水害に対して、どのような対策がとられているのでしょうか。そして、私たちにできることは何なのでしょう。



水没した町営野球場 (平成17年9月6日撮影)

町による対策

◆防災行政無線：難聴地域を解消するために、屋外子局の増設などの整備に向けて今年度より着手。

◆防災情報配信システム：携帯電話やパソコンに防災や災害に関する情報を配信。有事には避難勧告情報や避難所情報を提供。

◆津波避難ビル設置：高台避難に余裕のない場合の一時的な避難場所として使用する建物を設置。現在三カ所(高鍋第一ホテル・九州電力(株)高鍋営業所・宇都宮ガス)が指定されており、今後、追加指定していく予定。



◆海抜表示板の設置：町内五十カ所

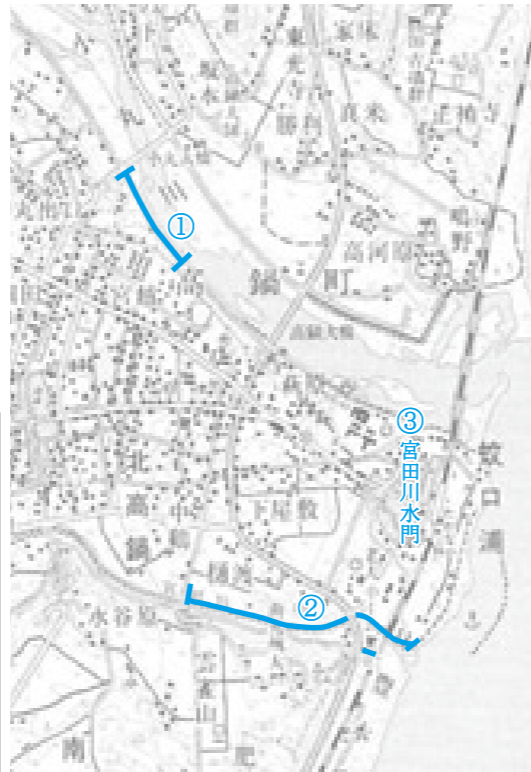


防災信号	
区分	サイレン
避難準備	5秒 5秒 5秒 休止約15秒 休止約15秒
避難勧告	5秒 5秒 5秒 休止約6秒 休止約6秒
避難指示	約1分 約1分 休止約5秒

また各河川では、万一の事態のときに、国または県と気象庁が共同で避難の目安となる「洪水予報」を行い、高鍋町からは「避難準備情報・避難勧告・避難指示」を発表します。

東北地方太平洋沖地震のような一刻を争う場合には、このような重大な情報が、防災行政無線や防災情報配信システムなどの方法では間に合わなかったり、伝達不能となることも考えられます。そのような場合は、高鍋町役場がサイレンにより次のような防災信号を送ります。

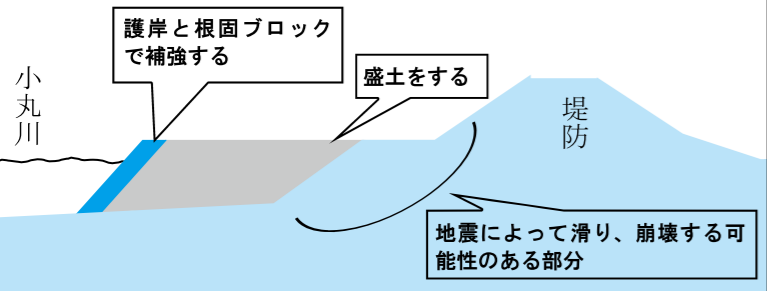
国による対策



◎小丸川堤防耐震補強

現在、小丸川では右岸(地図中①)の堤防耐震補強工事を行っています。これは小丸川一帯の土質調査を行い、液状化(水分を多く含んだ砂の層が地震の振動により液体状になる現象)などの恐れがある箇所を補強して、地震時に壊れないようにするためのものです。現在ある堤防の前面に盛土をして、護岸と根固ブロックで覆っていきま

◎小丸川堤防の耐震補強対策



◎宮田川堤防嵩上(かさあげ)工事

現在、小丸川支川の宮田川では、堤防の嵩上工事が行われています(地図中②)。河口付近は、台風等によって引き起こされる高潮の高さを考慮した「高潮区間」が設定されますが、宮田川の堤防は計画高より約一メートル程度低い状況であったため、擁壁で堤防を高くします。また、堤防は両斜面と上の部分を覆う三面張りの強固なものになります。



国道10号線古港橋より宮田川河口を望む

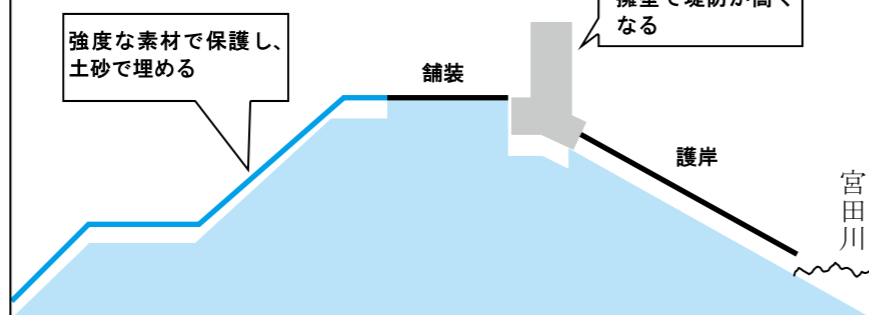
◎宮田川水門改築工事

宮田川が小丸川に流れ込む所にある宮田川水門は、昭和三十五年に作られたものです。水門には、河川の氾濫や高潮等の被害から道路や住宅を守る重要な役割があるため、老朽化した水門を新しく建設する工事が行われています。既存の水門をそのままにしながら、新しい水門を作ります(地図中③)。



基礎工事中の宮田川水門

◎宮田川の堤防嵩上



◆ 今回の記事を書くにあたり、国土交通省 宮崎河川国道事務所 高鍋出張所の方に話を聞きました。最後に「堤防を整備するなどハード面を強固にしても、自然災害を前にすると何が起きるかわかりません。町民の皆さん一人一人が危機意識を持ち、行動することが大切です」と話しました。

豊かな川に囲まれた地域に住む私たちは、水害に強い地域づくりを目指さなければなりません。

堤防などの施設に安心するのではなく、日ごろから各種避難訓練に参加したり、持ち出し品を備えるなど、防災意識を高めておくことが大切です。そして有事の際には、河川情報に注意して、危険と判断したら指示がなくても早めの避難を心がけましょう。「自助(自分の命は自分で守る)」「共助(自分の地域は自分たちで守る)」の気持ちは大切です。



口からはじまる健康づくり ~子どもから高齢者まで~

毎日何気なく使っている口と歯ですが、**食事を楽しむ、おしゃべりをする、表情をつくる**…、私たちが心豊かな生活を送るために欠かすことのできない器官です。さらに、口の中の健康状態は全身の健康とも深く関係していることがわかっており、口や歯の健康が改めて重要視されています。



口の中の病気で代表されるのが**むし歯と歯周病**です。この2つの病気で歯が抜ける原因の約4分の3を占めます。近年これらは「生活習慣病」だと考えられるようになりました。ということは、生活習慣を見直すことで、いつまでも健康な口・歯を保つことができ、食事や会話を楽しむなどのQOL(生活の質)の向上にもつながります。

口・歯の健康のために、続けてほしい生活習慣

口・歯のケア

食後の歯みがきをていねいに行い、食べかすや細菌を取り除きましょう！特に寝ている間はだ液の量も減り、細菌が増えやすくなります。寝る前にはきちんと歯をみがきましょう！
歯間ブラシやデンタルフロスも活用しましょう！
子どものむし歯予防にはフッ化物の利用も効果的です。

定期的な歯科検診

子どもの場合は、1歳6か月児・3歳児健診、2歳児相談、保育園や幼稚園、小・中学校で歯科検診が行われています。
成人すると、定期的な検診の機会がなくなりますので、ご自身で歯科医院を定期的に受診し、むし歯や歯周病の原因となる歯石を除去してもらいましょう。
健康づくりセンターでは、20歳以上の方を対象とした歯科検診(無料)を6月に実施しますので、ぜひご利用ください。



要注意！口呼吸

口の中が乾燥し、だ液の効果が発揮されずに、むし歯や歯周病を悪化させたり、口臭が発生するほか、細菌も侵入しやすくなり、さまざまな病気の原因になるともいわれています。口を閉じて、舌の先が上あごについた状態だと人間本来の鼻呼吸が自然にできません。



【あいうべ体操】…「あ〜」「い〜」「う〜」「べ〜」と口を大きく動かす動作を1セット(5秒目安)として、朝・昼・晩それぞれ10セット(まとめてしてもよい)ずつやってみましょう！自然と鼻呼吸になります。

★健康づくりセンターからのお知らせ★

高鍋町では、歯科検診以外にも特定健康診査(国保対象)、各種がん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)等を行っており、町民の皆さんの健康づくりを応援しています。年に1回は健康診査やがん検診を受け、自分のからだのチェックをしましょう！ ◆ お問い合わせ ◆ 高鍋町健康づくりセンター (☎23-2323)
※平成25年度の健康診査・がん検診等については、4月以降の広報紙・ホームページでご案内いたします。

食生活

どんなものをどのように食べるかで、口・歯の健康状態は良くも悪くもなります。さまざまな食材をバランスよく、よくかんで食べることが大切です。
また、だらだらと時間を区切らずに食べていると、口の中が汚れたままになるため、細菌の活動が活発になり、むし歯や歯周病になりやすくなります。
間食や甘い飲み物などは要注意です！

生活リズム・適度な休息

夜更かしなどの不規則・不摂生な生活習慣、睡眠不足やストレスなどは免疫力を低下させ、口や歯の病気だけでなく全身疾患を招きます。早寝早起きで生活リズムを整え、ストレス解消法を見つけましょう。

禁煙

タバコは歯ぐきの血行を悪くし、口の中で繁殖する細菌への抵抗力を弱めてしまい、歯周病をすすめます。

入れ歯について

いつまでも自分の歯でおいしく食べることが理想ですが、状況によっては入れ歯が必要になる場合もあります。
入れ歯もメガネや靴と同じです。かけはじめ、履きはじめに違和感があるように、入れ歯も自分の口になじむまでに少し時間がかかります。ちゃんとかめるようになるまでは、しっかり歯科医院に通うようにしましょう。
しっかりかんで食べることが、認知症予防にもなります。

BCP
(事業継続計画)
企業が、自然災害やインフルエンザの大流行などの緊急事態に備えて、企業にとって中核となる事業の継続を図るには早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画。

「東九州メディカルバレー構想」
大分県から宮崎県に広がる東九州地域において、血液や血管に関する医療を中心に、産学官(民間企業、教育・研究機関、国・地方公共団体)が連携を深め、医療機器産業の一層の集積と地域経済波及、さらにはこの産業集積を活かした地域活性化と、医療の分野でアジアに貢献する地域を目指す構想。

一月十五日、宮崎県庁で株式会社ユニフローズ(本社が東京都あきる野市)の工場新設に伴う立地調印式が行われました。これは、(株)ユニフローズがBCP(事業継続計画)の観点から生産拠点を分散し、災害時にも安定した製品供給を行うための工場を高鍋町に新設することによるものです。高鍋町にとつては二十四年ぶりの誘致企業となります。



「国内外で使われている高精度機器を生み出す会社」
「株ユニフローズ」が高鍋へ！



どんな製品を作る会社なんだろう？

流体を扱う理科学機器、医用機器、検査機器などを開発・製造・販売する会社です。
私たちに一番身近な製品は、成人病検査などで血液を調べる分析装置に組み込まれているマイクロナンブです。マイクロナンブは、血清や試薬をマイクロナンブ(ゴマ粒ほどの大きさ)の超微量で計量したり、送液をする部品で、分析装置の精度を左右する大変重要なものです。
ユニフローズが開発した小型で高性能なマイクロナンブは二千機種におよび、国内外を問わず医療機関や理科学系の研究機関など、多くの場所で使われています。

少量のサンプルで正確な測定ができれば…
例えば、血液検査などで患者の負担を軽減できます。また、薬品など廃液となる液量が削減できます。



株式会社ユニフローズ 代表取締役 森川秀行氏
手にしているのがマイクロナンブ



森川社長にインタビューを行いました！

Q、ユニフローズはどのような会社ですか？
「私たちは当社の商品にかかわる全ての人々が満足できる商品開発 商品提供を行います」これが当社の品質表明であり、「関わる人々全ての利益が出ないと、仕事全体がうまくいかないし、広がらない」ということが私の方針です。

Q、森川社長が宮崎県出身ということもあり、高鍋町に工場の新設を決められたということですが、高鍋町に新設する工場は、今後どのような役割を果たしていきますか？
当社の生産量の六十〜七十パーセントを高鍋町で生産する予定としており、非常に重要な製造拠点となります。
高鍋工場は新規に雇用した方で運営を行い、製品の組み立てや調整のほか、将来的には検査から出荷まで手掛けていきたいと考えています。また、将来的には部品調達も宮崎県内で行いたいと思っています。
今回の工場新設では、高鍋町の関係者の皆さまがとて親身になって相談にのってくださいました。ありがとうございます。

森川社長は、東日本大震災をきっかけにBCP策定に乗り出しました。「医療機器の部品を多く手掛ける自分たちが、災害などの有事に製品の供給を止める」と重大な影響を及ぼす人の命を支える医療機器の供給責任を果たす」という強い気持ちで、今回の工場新設へとつながりました。
大切な思いや重要な役割を担って、稼働を始める高鍋工場。高鍋の地に根付き、ここから世界へ向けた製品が発信されていくのが楽しみです。



津波などの被害を受けにくい、雲雀山地区の高台に工場が建つ

「十号線から曲がらせる」

「運転中にラジオをつけたら、高鍋のことばかり話してたけど、どうしたの？でも、何か嬉しかったよ！」

これは、今年度初めに、高鍋町がエフエム宮崎に委託して行ってきたラジオ広報番組「fresh!! 高鍋」を聞いた町民の方から寄せられた感想です。

専任の三人のスタッフが高鍋町内で取材や収録を行い放送を行ったもので、番組の回数は二十四年度の一年間で五十二回、出演者も町民の皆さんがほとんどで延べ百三十人を超える予定です。

この番組では、高鍋町のイベントや観光情報、元気な人やグループの紹介など、さまざまな分野で宮崎県内のリスナー向け情報発信を行ってまいりました。

この番組作成は、高鍋町を町外へPRすることが一番の目的でしたが、町民自身が高鍋町の良さを再認識し、この町に住んでいることや自分の取り組んでいることに自信や誇りを持っていただくとともに目的の一つでした。



今回は、この一年間、スタッフとして番組を作成してきた町外出身者三人に、高鍋の「自然」「イベント」「人」について感じたこと、どうすれば高鍋町がもっと魅力ある元気な町になれるのかという質問をしました。その結果、住んでいる私たち町民では感じにくい、貴重な意見を聴くことができました。



スタジオ収録

fresh!! takanabe staff interview

「自然」 ディレクター 小野 里奈さん



高鍋は、町の中心から短時間で海にも山にも行ける自然の「近さ」に恵まれており、四季を通じて気軽に自然と触れ合えるのがいいですね。例えば、希少な動植物の宝庫である高鍋温泉、サーフスポットとしての楽しさが実感できる海、日本のふるさとを感じられる四季彩のむら。また、生命の尊さと偉大さ、自然を守る大切さに気付かせてくれた子ガメを送る会。高鍋は人を癒し、心身ともに豊かにそして元気にしてくれる素材があふれています！

「イベント」 パーソナリティ 権藤 麻由子さん



ここには「高鍋でしか」「高鍋にしか」できないイベントが多いように感じます。例えば自然を活かした四季彩のむらの各イベントや子ガメを送る会、生産高が宮崎県一であるキャベツの畑を活かしたひまわり祭り、城跡を活かした高鍋城灯籠まつりなどです。地元にあるものを大切にしながら工夫されているところが素敵だと思います。またイベントに関わる人が「町を盛り上げたい」という気概にあふれていることも印象的で、楽しさに加え感動も多かったです！

「人」 パーソナリティ 日野 綾水さん



何と言っても高鍋への「愛」を持っている人が多いのにびっくり。町のために誰かのために何かしたいと考えている人が多いですね。これらは高鍋の歴史が人を育てていると言っても過言でないのではないのでしょうか。この1年の取材でそう感じます。また、町を元気にしたいと頑張る若者がとてもパワフル！そして、将来の高鍋を担う小中高生のあいさつが素晴らしいことも印象的でした。高鍋では当たり前のことかもしれませんが、本当にすごいです！

こうすれば高鍋町はもっと魅力的な町になる！



申し訳ありませんが、高鍋町は、昨年3月まで宮崎市から北へ向かう際に通過する町でした。また町の繁華街も国道10号沿いのかなあという印象でした。しかし、この仕事をさせていただくようになって国道を左に曲がると、舞鶴公園や美術館、高鍋温泉などの観光スポット、観光協会のある町家本店、右に曲がると海水浴場があるなど今まで通過していたことをとても後悔したものです。

これだけの資源をもっと国道沿いでPRできたらどうでしょうか。例えば、「城下町をイメージできるような舞鶴公園などのイラストが入った看板がある」「グルメ情報やあそび情報が一つになったパンフレットが国道沿いのお店(コンビニなど)にある」「『天然カキ』と書かれたのぼりがずらりと並んでいる」などしたら、気になって確実に曲がってしまいますね。

それから、現在の高鍋町には「体験もの」が少ないような気がします。一つ一つの素晴らしい素材をつなぎ、一日過ごせる『体験もの』があると美味しい食べ物も生きてくるのではないのでしょうか。

一つ一つの素材をみんなが連携してPRしていく。こうすれば高鍋はもっともっと魅力的な町になると思います。だって、いいものがあるのですから！

【取材を終えて】
「この話、一人で聴くともったいない！」この感じながら三人の話を聴きました。住んでいる私たち町民は、国道を左右に曲がることは当たり前です。でもそうではない人を曲がらせたいのです。高鍋の町を知ってもらえないのです。

「十号線から曲がらせる」
この言葉は、高鍋町へ人を呼び込むためのキーワードではないでしょうか。また、ここに掲載した三人からの提案を高鍋町をはじめとした関係機関や個人など町民の皆さんで共有し、それがこれからのまちづくりについて考えるきっかけとなれば幸いです。

一年間、取材等でご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。
(fresh!!:高鍋担当 N)

生活環境が整備されました 再編交付金で事業を実施しました

今年度、町では新田原飛行場関連再編関連特別事業(再編交付金事業)を利用し、生活環境の向上、地域活性化を図るための各種事業を行いました。

◎町マイクロバス購入事業



高鍋町
五輪町 高鍋町 高鍋町
新田原飛行場関連再編交付金事業

町内の自治公民館活動などの住民活動、保育所や小中学校での学校活動や各種団体の交流事業などの活性化を図る。

◎特産品開発支援事業

高鍋町の特産品を開発する加工施設を建設。施設内には、精米機・そば製粉機・米粉製粉機・加工室が設置され、町内の農産物を使った特産品の開発や、町内農産物を使用した料理教室・食育などの体験ができる場として活用する。

- ◆用地整備…七五〇㎡
- ◆加工施設建設…一三二・七㎡
- ◆設備…コイン精米機、そば製粉機、米粉製粉機、加工室

◎地区公民館改修事業



スロープがついた下永谷公民館

下永谷地区公民館の改修工事
・床段差の解消
・洋式トイレへの改修
・空調機の設定



高鍋温泉入り口に建設中の加工施設

三月末に完成予定のこの加工施設で、今後、新たな特産品が生み出されるのが楽しみです。

平成24年度たかなべ未来づくり事業報告

住民参画による快適で 美しいまちづくり

「たかなべ未来づくり事業」は、将来にわたって町民が誇りを持ち、個性的で魅力ある地域社会の実現を図るために、町民の提案による公共・公益性の高いまちづくり活動に町が予算を付けて、町民が実施する事業です。昨年度から始まり、今年度は3事業が行われ、それぞれ多くの参加者でにぎわいました。

◎町内にミールの音楽を②!!! 小さい人たちと高齢者に!

NPO法人 野の花館
▲参加者: 1,068人
▲補助額: 500,000円



◎蚊口浜エコ活動・ 子どもサーフィン教室

NPO法人 AI
▲参加者: 65人
▲補助額: 500,000円



◎若ダンスコンテスト

NPO法人 児湯・高鍋ライフ
セービングスポーツクラブ
▲参加者: 89人(12チーム)
▲補助額: 473,000円

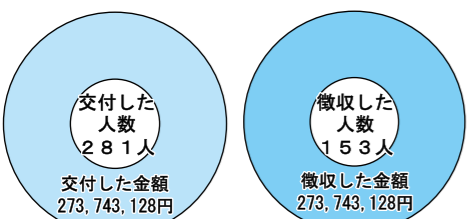


畑田土地画整理事業に 伴う清算金交付・徴収事 務の完了について

畑田土地画整理事業(施行面積 四六・二ヘクタール)は、約二十年間の歳月と約六十一億円の事業費を投じて実施され、平成十八年三月に完成しました。同年から清算金交付・徴収事務を開始し、平成二十五年二月をもって全ての畑田土地画整理事業の事務が完了しました。

※清算金とは
土地画整理事業において地を定める場合は、従前の土地の位置、地籍、環境等を総合的に考慮して新たに換地先を指定しますが、換地前と後ではある程度の不均衡が生じます。この不均衡を是正するために交付・徴収する金銭のことを清算金とします。

高鍋都市計画畑田土地画 整理事業清算金特別会計



**農商工連携による力で
地域にさらなる活力を**

二月四日、児湯農業協同組合と高鍋商工会議所、新富町商工会および木城町商工会により、高鍋町、新富町および木城町の立ち会いのもと「産業界の農商工連携及び協力に関する協定書」調印式が行われました。

これは、農業、商業、工業など各産業界の一層の連携強化について情報交換や研究の場を設けるとともに、相互の人的・知的資源を効果的に活用し、活力ある地域社会の形成と地域経済の活性化を図るものです。

次の五つのテーマについて連携に努めます。

- ◆各団体主催のイベント等への協力について
- ◆地場産農産物等を利用したオリジナルグルメ・お土産等の開発について
- ◆地場産品・農産物の消費拡大について
- ◆魅力ある観光地づくりについて
- ◆活力ある人材の育成及び交流について



握手を交わす児湯農業協同組合、商工会議所・各商工会の代表

**今年も元気に
春季キャンプ開催！**

今年も強豪二チームが高鍋町で春季キャンプを行いました。二月二十一日から三月三日までJFE東日本硬式野球部、三月五日から十五日まで桐蔭横浜大学硬式野球部が、町営野球場と小丸河畔運動公園 屋内多目的広場で汗を流しました。

滞在中は、町民と選手の皆さんとの交流も見られ、スポーツを通じての町の活性化を感じることができました。

二チームとも暖かい高鍋で効果的に、技術力やチーム力向上のための実戦練習を行っていました。今年もうれしい報告が聞けることを祈っています！

JFE東日本 硬式野球部

昨年3月の東京スポニチ大会で初優勝、7月の都市対抗野球大会でベスト4入りを果たしたJFE東日本硬式野球部。高鍋町でのキャンプは今年で3回目となります。青野達也監督は「暖かい高鍋に早く来たいと思っていた。このキャンプでは、試合形式の練習を行って、一球にこだわることに力を入れたい」、日南市出身で主将の落合成紀さんは「これまで選手たちに言ってきた『団結』を極めたい」と話してくれました。お二人とも「日本一を目指します！」と力強く語ってくれました。



キャンプ歓迎式



宮崎でオープン戦4試合を行った

桐蔭横浜大学 硬式野球部

昨年11月の明治神宮野球大会で優勝し、創部7年目にして大学日本一となった桐蔭横浜大学硬式野球部。高鍋町でのキャンプは6回目となります。齊藤博久監督は「昨年は勢いで優勝したが、今年は狙っていく。優勝して追われる身となり、さらに意識を高く持ち、技術面もワンランクアップを目指していかなければならない」、氏家彩斗主将は「優勝後も選手たちは気が緩むことなく、しっかり練習に打ち込んでいる。昨年の結果にこだわることなく優勝を目指す」と話しました。

また、高鍋高校出身で副主将の甲川稔選手は「キャプテンをサポートしながら、個人的には全日本でも打てるように練習を積み重ねる」、同じく高鍋高校出身の宮越晃規選手は「今春に高鍋高校出身の永友裕馬選手も新1年生として入部してくるので、良い手本になるよう努めたい」と話してくれました。



キャンプ歓迎式



差し入れの餃子でパワーを補充

- ◆春季キャンプ激励品協賛団体◆
- ・株式会社児湯青果地方卸売市場
 - ・児湯農業協同組合
 - ・高鍋商工会議所
 - ・高鍋町観光協会
 - ・南九州コカ・コーラボトリング株式会社
 - ・宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合
 - ・宮崎県農協果汁株式会社

年始を感じる風景

一月十三日、小丸河畔河川敷運動広場で平成二十五年高鍋町消防始式が行われ、消防団の皆さんが日ごろの訓練の成果を存分に発揮しました。成績は次のとおりです。

○消防始式の部

- 第一位 第十部
- 第二位 第十一部
- 第三位 第九部

○年間機庫点検の部



消防始式の部 第1位の第10部

- 第一部部长 杉田 友樹
- 第七部部长 谷川 義彰
- 第九部部长 藤原 一信



近くで見ると、圧巻の放水試験。当日は雨が降り大変厳しい寒さの中での始式だった



○二百人以上が観覧

一月八日、高鍋町美術館の駐車場でNHKラジオ第一「ここはふるさと旅するラジオ」の公開生放送が行われました。ゲストは、宮崎を舞台にしたNHK連続テレビ小説「わかば」のヒロインを演じた原田夏希さんで、撮影当時の話をしました。高鍋町からは三人が出演し、全国に向けて町をPRしました。



会場には、たか鍋大師くんも来場。多くの観覧者でにぎわった

○交通安全の未然防止に

J A共済が交通事故対策事業の一環としてカーブミラー八基を高鍋町に寄贈し、一月九日、高鍋町役場で贈呈式が行われました。交通安全の未然防止に役立てていきます。



○町内二校がトップに！

高鍋警察署管内の学校で、十月から十二月にかけて行われた「学校対抗(自転車)鍵かけ合戦」で、高鍋西中学校と高鍋農業高校がトップの成績を収め、一月二十二日に高鍋町教育委員会と高鍋警察署から表彰されました。これは防犯意識を高め犯罪への抑止を図ることを目的に行われています。



表彰を受ける高鍋西中学校の生徒

○受け継がれるもの

二月三日、高鍋町中央公民館で「第二十二回石井十次顕彰のつどい」が行われ、高鍋西小学校五年生による群読「石井十次先生に思う」や、同校六年生による資料発表、児童劇「縄の帯」が発表されました。その後、同校出身の黒岩正春さんが「わたしのスポーツ人生」という演題で講演を行い、ご自分の後輩に向けてエールを送りました。



児童劇で石井十次を演じた児童から、黒岩さんへ花束が贈られた

○自ら進んで学習！

二月二十四日、高鍋町中央公民館で生涯学習推進大会と自治公民館大会が行われました。事例発表、県教育事務所の方の講話や粉川真一アナウンサーの講演、公民館教室生による作品展示・芸能発表会がありました。



地元食材を使って、ロールキャベツや里芋もちなどを調理。普段苦手な食材を、この時は食べることができた子どもも！

♪ご案内♪

- 舞鶴公園桜まつり
- 桜のライトアップ期間
- 三月二十三日(土)
- 四月十四日(日)
- 桜と人と芸術2013
- ◎四月六日(土)～七日(日)
- ◎四月七日(日)
- 陶器市
- クラフト市

社会福祉法人春光会

特別養護老人ホーム ショートステイ **望み苑**

平成25年夏オープン！！

〒884-0003 高鍋町大字南高鍋字水谷原9118-1 (水谷原公民館隣地)

入居予約受付中

お問合せは『望み苑』開設準備室まで

☎0985-50-3167 担当 室橋 幸子

ユニット型特別養護老人ホーム 3ユニット(全室個室 29名)
併設ショートステイ 1ユニット(全室個室 10名)

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

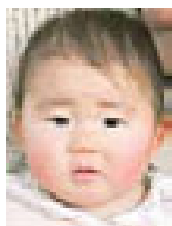
わが町の宝物

みんな元気に育ってね。

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。今回は、1月・2月の健診に来た元気なちびっ子たちです！



おがた いちか
緒方 苺架 ちゃん



ほと の あや
鳩野 彩 ちゃん



ふじま ぜんいちろう
藤島 禪一郎ちゃん



なむら ひると
中村 優杜 ちゃん



いづら きき
岩倉 咲季 ちゃん



こまつ れな
小松 令奈 ちゃん



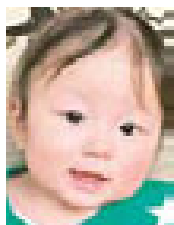
ながとも ずかい
長友 春凱 ちゃん



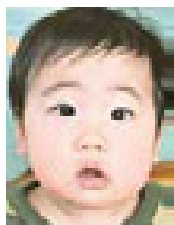
かとう だいち
加藤 大地 ちゃん



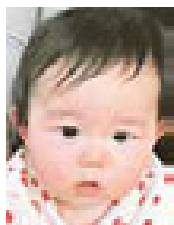
かわさき さくら
川崎 咲 ちゃん



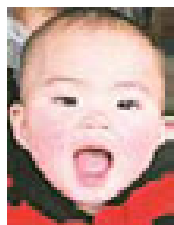
もりべ みお
守部 心桜 ちゃん



ほりえ こあ
堀江 琥天 ちゃん



かわの ゆりか
河野 友俐花ちゃん



しらさき みう
白坂 美海 ちゃん



ゆげ ときや
弓削 辰弥 ちゃん



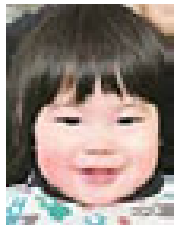
のりまつ ゆあ
則松 優蒼 ちゃん



おおひら ひな
大平 姫愛 ちゃん



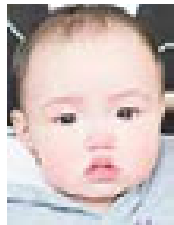
きたお ゆうと
北尾 優翔 ちゃん



おくやま れん
奥山 蓮 ちゃん



くぼた たいが
久保田 大雅ちゃん



ひがき はるた
檀垣 晴太 ちゃん



まつら しょうら
松浦 尚羅 ちゃん



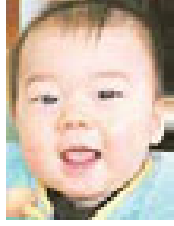
かい はるひ
甲斐 陽日 ちゃん



やなぎた
柳田 すず ちゃん



えびはら あおい
蛸原 葵 ちゃん



あきやま かいと
秋山 海音 ちゃん



まえだ ゆうしん
前田 悠真 ちゃん



こうむら あゆみ
幸村 愛美 ちゃん



や の ゆうあ
矢野 優空 ちゃん



にしむら あゆみ
西村 歩美 ちゃん



あまの れんと
天野 蓮登 ちゃん



たかやま みお
高山 滯 ちゃん



くろき れいな
黒木 玲奈 ちゃん



おしかわ そら
押川 宙 ちゃん



おしかわ りょう
押川 龍 ちゃん



おしかわ しょう
押川 翔 ちゃん

広報たかなべ 2013. 3. 15 NO. 381

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003
<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>
※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。



人口と世帯数(3月1日現在・前月比)

人口	21,661人	(+ 3)
男性	10,243人	(- 3)
女性	11,418人	(+ 6)
世帯数	8,790世帯	(- 7)

高鍋キャベツを使った

ロールケーキとシュークリームができました！

高鍋町は県内トップのキャベツの産地。その地取れキャベツを粉末にして、スポンジケーキやカスタードクリームに混ぜました。鮮やかなキャベツ色のロールケーキと、割った時の緑色が斬新なシュークリーム。町家本店など町内2店舗で販売しています。詳しくは、まちなか商業活性化協議会(☎22 - 5588)へ。



ぜひ一度、ご賞味ください♪